

## 解 答

1 (A)	2 (C)	3 (C)	4 (D)	5 (B)	6 (C)
7 (B)	8 (C)	9 (D)	10 (A)	11 (A)	12 (C)
13 (B)	14 (B)	15 (C)	16 (A)	17 (D)	18 (A)
19 (B)	20 (A)				

1. 「私は今現在、2日間鍵を見つけられないでいる」  
 ▶ forで完了形、nowで現在形となり、現在完了形の(A)が正解。
2. 「私の娘は学校に2, 3人の親しい友達がいる」  
 ▶ 可算名詞(-sがつく名詞)を修飾するのは、a littleではなくa fewである。

## few / littleの意味と用法

用法 意味	可算名詞の複数形について『数』 を表す。	不可算名詞の単数形について『量』 『程度』を表す。
少しの 〔肯定的〕	<input type="checkbox"/> a few <input type="checkbox"/> a small number of	<input type="checkbox"/> a little <input type="checkbox"/> a small amount of
ほとんど~ない 〔否定的〕	<input type="checkbox"/> few <input type="checkbox"/> only a few	<input type="checkbox"/> little <input type="checkbox"/> only a little
少なからぬ	<input type="checkbox"/> not a few (= many) <input type="checkbox"/> quite a few (= many)	<input type="checkbox"/> not a little <input type="checkbox"/> quite a little

3. 「君のアウトドアへの情熱を考えたら、田舎より都会に住むことを決めたのには本当に驚いたよ」  
 ▶ (B)considerate「思いやりがある」, (D)considerable「かなりの、相当な」  
 considering ~「～を考慮に入れると」 (= given ~)  
 ▶ consideringは前置詞または接続詞の働きをする。  
*He looks young, considering his age.*  
 (彼は年の割には若く見える。)  
*Considering (that) he has no experience, he did quite well.*  
 (未経験にしては、彼はよくやった。)
4. 「バス語は、その起源が依然として謎であるのだが、我々が知っているいかなる言語にも関連付けられていない」  
 ▶ whose origin ... = the origin of which ... 「その起源は…」  
 relate A to[with] B「BとAを関係づける」  
*Your grade will be related to your effort.* [受身形]  
 (成績は努力次第だよ。)  
 know of A「Aがあるのを知っている/Aのことを聞いている」  
*I know of her staying in Tokyo.*  
 (彼女は東京に滞在中だそうですね。)
5. 「テニスの腕前に関わらず、誰でもテニスクラブに加入することができます」  
 ▶ (B)regardless of ~「～に関わらず(= without regard to ~)」が正解。(D)のwith regard to ~は「～に関して」という意味。主節のmayは「許可(～してもよい)」の意味。  
 regardless of ~「～にかかわらず/～にかまわず」 (= in spite of ~)  
*We are determined to carry out our plan regardless of his intention.*  
 (私たちは彼の意向にかまわず自分たちの計画を実行する決心です。)  
 with[in] regard to ~「～にに関して(は)」  
*Do you have anything to say with regard to this matter?*  
 (この件に関して何か言うことはありますか。)
6. 「マシューはとても疲れた顔をしている。まるで何日も眠っていないかのように見える」  
 ▶ as though[as if]+S+V「まるでSがVしているかのように」lookやspeakなどの

直後に来ることが多い。節内は**直説法・仮定法**のどちらも可能である。本問では、話し手が「何日も眠っていない」だろうと判断しているので直説法が用いられている。

□ **as if[as though] + 仮定法** 「まるで～である[あった]かのように」

He talks *as if he were* an expert in economics. [仮定法過去]

(彼はまるで経済学の専門家であるかのように話す。)

You look *as if you had seen* a ghost! [仮定法過去完了]

(君はまるで幽霊でも見たかのような顔色だよ!)

▶ 入試では『as if [as though] + 仮定法過去』の出題がほとんど。

□ **as if[as though] + 直接法**

Judging from the look of the sky, it looks *as if it is going to* snow.

(空模様から判断すると、雪になりそうだ。)

▶ 話し手が事実だろうと判断していることを表す場合, *as if*の後には**直説法**が使われる。特に『look[seem/appear]+as if [as though] ~』の形で多く用いられる。

7. 「ロバートは昨日、腕時計を失くしたが、まだ見つかっていない」

▶ 完了形の否定文ではnot ~ yet「まだ～していない」を用いる。*already*を使うのは肯定文。

▶ (A)anymore「[否定・疑問文でも]もはや、これ以上」, (C)anyhow「いずれにせよ、ともかく(=anyway)」

already / yet / still 「もう/まだ」の使い分け			
	肯定文	否定文	疑問文
<b>already</b>	もう～(した)	—	もう(～したのか)『驚き』
<b>yet</b>	—	まだ(～していない)	もう(～したか)
<b>still</b>	まだ(～している)	まだ～(していないのか)	まだ(～しているのか)

8. 「将棋は古代の昔から、親しまれてきた」

▶ since / forの使い分けは「since+過去の始点」「for+継続の期間」である。

9. 「マリーは6つの仕事に応募したが、ただの1つも返事を受け取っていない」

▶ 空欄の後にreceivedが続いているので、現在完了形を作る(D)が正解。*single*は否定文中で「ただの1つ[1人]も」の意を表す。

□ **apply for ~ 「～を申し込む/～を求める」 (= ask for ~)**

Bill applied for a scholarship but he wasn't successful.

(ビルは奨学金を申し込んだがうまくいかなかった。)

▶ **apply to ~ 「(規則などが)～に当てはまる」 (= be true of ~)**

These rules apply to everybody alike.

(これらの規則は誰にも同じように当てはまる。)

10. 「新しい交通安全規則が事故をより少なくするために施行された」

▶ so that S would[will, can, may] ~ 「Sが～するために」

□ **so that S can[will / may] ~ 「Sが～するために」**

(= in order that S can[will / may] ~)

▶ canとwillは口語調, mayは改まった言い方に用いられる。

Let's take an express train so that we can get there 20 minutes earlier.

(そこへ20分早く着けるように急行電車に乗ろう。)

▶ in order thatもso thatとほぼ同じ意味で使われる。ただし, in order thatのほうが堅い表現で, in order that節の中ではmayが使われることが多い。

She spoke loudly in order that the people in the back might hear.

(後ろの人に聞こえるように、彼女は大きな声で話した。)

11. 「音楽がとてもうるさかったので普通の会話を続けるのは不可能だった」

□ **carry on ~ 「～を続ける/～を進める」 (= continue)**

I tried to carry on the investigation on my own.

(私は1人でその調査を続けようとした。)

► carry on with ~もほぼ同意。

⇒ I tried to *carry on with* the investigation on my own.

12. 「君はいつも遅刻をするという評判だよ」

► develop[earn, build, establish, gain] a reputation for ~ 「~という評判を得る」

13. 「バルセロナはマドリードから電車やバスで簡単にに行くことができる」

► 能動態を考えれば, reach + 場所「～に到着する」なので, (B)reachedが正解。

14. 「これらのグラフは我が社が何年も抱えている基本的な問題を説明している」

► 主語が「グラフ」なのだから, (B)illustrate「(実例・図版などで)～を説明する」が正解。

► (A)figure「～と判断する;～を計算する」, (C)draw「～を(線で)描く;～を引っ張る」

15. 「私は君が時間通りに仕事を仕上げられないと考えていたと認めざるを得ない」

► I must admit that ~ 「～だと認めざるを得ない」

► (A)forbid「～を禁じる」, (B)compete「(～と)競争する」, (D)contribute「～を寄付する」

16. 「私どもの多言語を話す客室乗務員が可能なあらゆる方法であなたを助けるでしょう」

► in any way (that [in which]) they can (assist)の省略。直後にS+Vがあるので, the way + S+Vの形を思いつけばよい。

► (B)occasion「(特定の)場合」, (C)means「手段」, (D)help「助力、援助」

17. 「何回かの試みのあと、デビッドはようやく望みの仕事を得ることができた」

► 文意より(D)attempts「試み」が最適である。

► (A)admission「許可」, (B)intention「意図」, (C)entrance「入口;入場」

□ manage to do 「なんとか[どうにか]～する」

After a lot of problems she *managed to* learn to drive a car.

(多くの困難の後、彼女はなんとか車の運転ができるようになった。)

18. 「崖っぷちに近づいてはいけません。落ちるかもしれませんよ」

► the edge of the cliff 「崖っぷち」 edgeは「端」の意味。

► (B)danger「危険」, (C)height「高さ」, (D)wave「波」

19. 「年末になると多くの顧客を惹きつけ、売上げを増やすために多くの商店が安売りをする」

► offer bargains「安売りをする」

► (A)estimate「見積もり、概算」, (C)price「価格」, (D)cost「費用、犠牲」

20. 「口バートの銀行口座には残高がなかった」

► (A)account「銀行口座」, (B)interest「利息」, (C)deposit「預金」, (D)loan「貸付金、借金」